

インタビュー 距離をとるって何だろう？

——近さと遠さの社会学

●登場人物●



深田耕一郎
大学では社会学、
社会科学入門、
社会福祉論、
介護論等を担当。
©Kan Miyake



カッピイ
計量カップをモ
デルにした栄大
のキャラクター。



M.ウェーバー
(1864-1920)
ドイツの社会学者。
近代の社会構造を
根本から追究した。

こんにちは！カッピイです。きょうは女子栄養大学 福祉社会学研究室的の深田先生にお話を聞
きに来ました！さっそくですが、深田先生が専攻されている**社会学**ってどんな学問ですか？

社会学は昔から人と人の「**距離**」をテーマにしてきた学問のような気がします。「**ソー
シャルディスタンス：社会的距離**」もそもそも社会学の言葉かもしれません。目に見え
る空間的な距離だけでなく、目に見えない人と人のあいだの「距離」ってありますよね。

ああ、たとえば「**あのひととの距離が縮まった**」というあの感じですか？片想いのときとか！？

そうそう。空間的な「近い・遠い」というより、精神的な「**親密・疎遠**」をいったもの
ですね。立場や地位、つまり人と人の関係性の違いによって感じられる「距離」です。
たぶん、人間にとって「距離」の問題はずっと悩ましいテーマだった。特に近代社会は、
人の立場や地位が「自由」になり、人間関係が複雑化したので、より悩ましくなった。
たとえば、マックス・ウェーバーという社会学者は『職業としての政治』のなかで、
政治家に求められる態度として「**距離への習熟**」をあげています。人間、目の前の世界
に情熱的になるのも大事だけど、ちゃんと「距離」もとらなきゃダメだよと。「距離へ
の習熟」は政治家だけでなく、近代に生きる、たいていの人のテーマでしょうね。

そうすると、コロナ後の「新しい生活様式」では、空間的にも精神的にも、よりいっそう
「**距離への習熟**」がテーマになるってことですか？ 社会学は何か**ヒント**をくれますか？

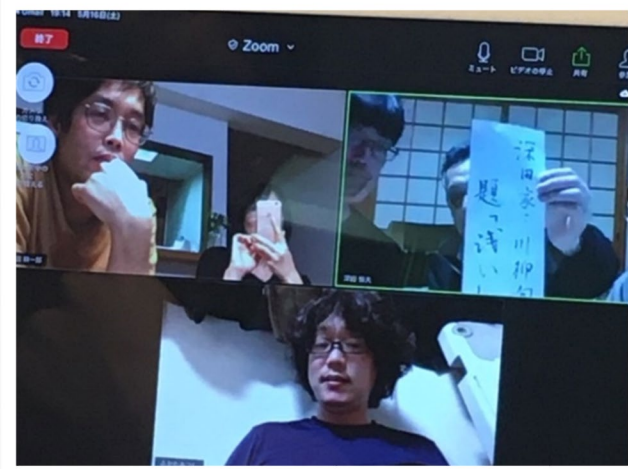


「習熟」ってところがポイントかなと。つまり、距離が近いから「悪い」でも「良い」でもなく、かといって、遠いから「悪い」でも「良い」でもない。その関係性にふさわしい距離に習熟しようっていうことですね。

でも、それって難しいですね。じゃ、どうしたらいいんでしょう？



そうですねえ。ちょっと、すごく個人的な話をさせてください。5月18日は両親の結婚40年の記念日でした。父母ふたりで兵庫県に住んでいます。帰ってお祝いをしようかとも考えましたが、緊急事態宣言が出て帰れませんでした。そこで、Zoomを使ったオンラインのお祝いをすることにしました。東京に住む弟も参加して、それぞれ料理も準備しました。



東京・埼玉・兵庫をZoomでつないでオンライン・ルビー婚祝い。弟はギターで「君といつまでも」(!)を披露しました。

ラジオ深夜便の募集テーマは「浅い」
オンライン句会、この日の大賞は
次弟の作品「40年 浅く見えても 深い愛」

へえ、40年はルビー婚だから、オンライン・ルビー婚式ですね！



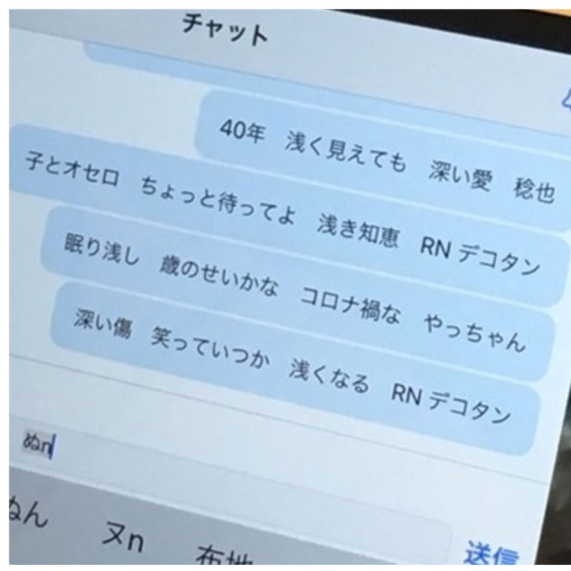
そう。よく知ってますね。すると、定年後、川柳に凝っている父がNHKラジオ深夜便の「ぼやき川柳」に投稿するといいたして、オンライン句会も開催したんです。番組が募集していた「お題」で、それぞれが川柳を作って発表しました。これがなかなか楽しかった。



仲の良いご家族ですね！ふだんからそんなに親密なんですか？



いや、ぜんぜん。1年に1回くらいしか会わない。こういうのにかこつけてしか会えない。距離が離れているからできた気がします。たぶん、一緒に暮らしてたらやらなかった（笑）。近すぎたらできないことも遠くにいるからできた。それをつないだのがオンラインということですかね。距離的には遠くあっても、あるいは遠いからこそ、近くに感じることもできるってことでしょうか。





ああ、じゃ深田先生が「**親子関係の距離**」に「**習熟**」したってことですか？

いやあ、習熟とまではいかないけど、多少はそうかもしれない。親子って近すぎて難しいですから。これは**ゲオルク・ジンメル**って社会学者がっていることですけど、人間、近くにあっても距離をとったほうがいい関係性もあるし、距離が遠くても近くに感じられる関係性もある。たとえば、都市生活は人びとが互いに無関心でいるからこそ、むしろ快適に暮らすことができるとか。



さきほどの「**距離への習熟**」ってこととつながる考えかもしれませんね。

逆に、近くにあるのに遠かったものに気づかされました。その1つが、**地元のカフェ**です。それまでぜんぜん知らなくて、いかに**近いもの**に目を向けてなかったかを思い知りました。家の近くの川を歩くと畑と住宅が広がっています。カフェが何軒かあって、おいしい食事とコーヒー、静かな時間を楽しみました。



地元のよさの再発見ですね。でも、カフェは3密にならないんですか？

感染予防の対策はもちろん行ってますね。**空間的な距離**をとって。マスク着用で手指消毒をして店内に入りました。お店の方に聞くと、自粛も考えたんだけど、お客さんには「**日常**がほしい」って声が多くて、時短で営業を続けたそうです。確かになあと思いました。地域の人にとっては、そこでひと息つくのが日常ですものね。こんなふうに、感染予防は行ったうえで、**関係性にふさわしい距離を工夫**していくのが大事なのかなと思います。



なるほど。きょうはありがとうございました！



カフェD&D

娘さんとお父さんとで切り盛りされている。店内には手作りの雑貨も。



G.ジンメル
(1858-1918)

ドイツの社会学者。生の哲学と呼ばれるユニークな仕事を多数残した。

